

防振ゴムの締め付けトルク



一般的な金属面締結を想定した場合の防振ゴムの推奨締め付けトルク

■ 推奨締め付けトルク

ねじ径	推奨締め付けトルク
M3	0.34~0.43(N・m)
M4	0.77~0.98(N・m)
M5	2.2~2.8(N・m)
M6	3.7~5.2(N・m)
M8	9~13(N・m)
M10	18~25(N・m)
M12	31~45(N・m)
M16	88~110(N・m)
M20	170~220(N・m)
M24	290~390(N・m)

■ 推奨締め付けトルク(KQタイプ)

※軽量用防振ゴム(KQタイプ)を使用する場合は、別途、下表の推奨締め付けトルクを参考願います。

製品番号	推奨締め付けトルク
KQ-27	1.0(N・m)
KQ-38	3.4(N・m)
KQ-53	6.9(N・m)



写真：KQ-38

<お客様へのお願い>

- 締め付け管理の1つであるトルク法(JIS B 1083記載)は、ネジ面及び座面の摩擦の影響で、締め付け力が大きくばらつくので、トルクの数値を決めるためには締結面の摩擦係数を考慮する必要があります。
- 締め付けの際に、防振ゴムのボルト及びナットが共回りし、ゴムのねじれが発生することがありますので、下記の内容に注意して締め付けを行ってください。
 - 施工時のボルトに締め付けはゆっくりと行い、過大なトルクを急激に掛けないように注意してください。
 - ねじれが発生するとゴムの寿命が低下しますので、ゴム本体を保持してねじれないように締め付けを行ってください。ねじれの量の目安はゴム高さの20%以下に抑えるようお願い致します。(右図参照)
- ゆるみ防止のために締め付けトルクを増やす場合は、防振ゴムのねじれ・共回りが起きないように状態を確認しながら、締め付けを行ってください。また、ゆるみ防止には、ゆるみ止め接着剤のご使用をお勧めします。

